

事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由 ※2	事後評価の結果 ※3	総合評価	担当課	特記事項																																												
				着手	※1 再評価	完成																																																		
	水産流通基盤 整備事業 大堂津地区	日南市	①防波堤 L=100m ②護岸(改良) L=110m ③浮棧橋 N=1式 ④(-)5m岸壁 (改良) L=113m ⑤泊地 (-)5m A=33,000m2 ⑥航路 (-)5m A=6,000m2	H13	-	H24 (H23 繰)	1,938.1	①	<p>【1 全体計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>計画施設</th> <th>計画工事</th> <th>計画数量</th> <th>計画事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外郭施設</td> <td>①防波堤</td> <td>L=100m</td> <td>934,000</td> </tr> <tr> <td>②護岸(改良)</td> <td>L=110m</td> <td>68,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">係留施設</td> <td>③浮棧橋</td> <td>N=1式</td> <td>185,000</td> </tr> <tr> <td>④(-)5m岸壁(改良)</td> <td>L=113m</td> <td>643,100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水域施設</td> <td>⑤泊地(-)5m</td> <td>A=33,000m2</td> <td>86,400</td> </tr> <tr> <td>⑥航路(-)5m</td> <td>A=6,000m2</td> <td>21,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>1,938,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【2 事業目的】 70t級の漁船が日常的に利用できる岸壁がないことから、より深い喫水に対応できる岸壁及び航路・泊地を整備することで、漁船の潮待ちや陸揚げ作業の効率化を図る。 また、波浪時に港内避難が困難なことから、防波堤や護岸を整備し、港内静穏度を向上させ、安全性の確保を行う。 さらに、潮位により重労働の度合いが変化する陸揚げ作業を改善するために、浮き棧橋の整備を行う。</p> <p>【3 事業効果の発現状況等】 大きな喫水に対応できる岸壁等を整備したことで、大型船の潮待ちが無くなり、効率的な接岸や陸揚げ作業が可能となっている。 外郭施設整備により、港内静穏度が向上し、台風等での他港避難が不要となっている。 浮き棧橋の整備により、高齢者を始め漁業者全体に重労働の改善や効率的な荷揚げ等に大きな効果がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業効果(漁協ヒアリング等)</th> <th>整備前</th> <th>整備後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70t級以上の漁船による陸揚げ量の増加</td> <td>-</td> <td>400トン/年</td> </tr> <tr> <td>浮き棧橋整備による陸揚げ作業時間の削減</td> <td>5,612時間/年</td> <td>1,673時間/年</td> </tr> <tr> <td>潮待ち(平均2時間)の解消</td> <td>44回/年</td> <td>0回/年</td> </tr> <tr> <td>港口航路の静穏度の向上</td> <td>1.3m</td> <td>0.8m</td> </tr> </tbody> </table> <p>【4 事業による環境の変化や環境の保全】 工事実施時には海底土砂の拡散などが生じないよう汚濁防止等に努めた。副次的に、新たな防波堤周辺で伊勢エビや牡蠣などの生息環境が形成されつつある。</p> <p>【5 施設の維持管理状況】 完成後5年を経過しているが、油津港湾事務所による日常管理のもとで、航路泊地への土砂流入はなく、また、岸壁利用状況も良好である。</p> <p>【6 今後の課題等】 東日本大震災後に耐震耐津波指針が示され、大堂津漁港のすべての施設も機能診断を実施した。この結果、別の外郭施設で補強が必要と診断されており、また、整備した岸壁背後地の液状化対策も必要とされている。 これらについては、平成29年度から新たに「機能強化事業」により順次対応している。</p>	計画施設	計画工事	計画数量	計画事業費(千円)	外郭施設	①防波堤	L=100m	934,000	②護岸(改良)	L=110m	68,000	係留施設	③浮棧橋	N=1式	185,000	④(-)5m岸壁(改良)	L=113m	643,100	水域施設	⑤泊地(-)5m	A=33,000m2	86,400	⑥航路(-)5m	A=6,000m2	21,600	合計			1,938,100	事業効果(漁協ヒアリング等)	整備前	整備後	70t級以上の漁船による陸揚げ量の増加	-	400トン/年	浮き棧橋整備による陸揚げ作業時間の削減	5,612時間/年	1,673時間/年	潮待ち(平均2時間)の解消	44回/年	0回/年	港口航路の静穏度の向上	1.3m	0.8m	建設された岸壁や浮棧橋及び航路・泊地により漁業者の就業形態が大きく効率化されており、事業効果が適切に発揮されている。 また、台風等の波浪時にも港内静穏度が向上したことで、安全な航行が可能となったことや、他港への待避が不要になったことで、漁業者の負担軽減に寄与している。 事業完了後5年を経過した現時点の評価は良好であると考えている。	漁村振興課	特に無し
計画施設	計画工事	計画数量	計画事業費(千円)																																																					
外郭施設	①防波堤	L=100m	934,000																																																					
	②護岸(改良)	L=110m	68,000																																																					
係留施設	③浮棧橋	N=1式	185,000																																																					
	④(-)5m岸壁(改良)	L=113m	643,100																																																					
水域施設	⑤泊地(-)5m	A=33,000m2	86,400																																																					
	⑥航路(-)5m	A=6,000m2	21,600																																																					
合計			1,938,100																																																					
事業効果(漁協ヒアリング等)	整備前	整備後																																																						
70t級以上の漁船による陸揚げ量の増加	-	400トン/年																																																						
浮き棧橋整備による陸揚げ作業時間の削減	5,612時間/年	1,673時間/年																																																						
潮待ち(平均2時間)の解消	44回/年	0回/年																																																						
港口航路の静穏度の向上	1.3m	0.8m																																																						

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。